

## 研究課題の名称

脳卒中急性期の麻痺側上肢に対して合目的的活動を用いた機能的電気刺激療法が及ぼす影響

## 研究の目的及び意義

口目的的動作と介助型電気刺激装置 (NESS H200 ) を併用する作業療法の効果を分析する。

脳卒中急性期の作業療法プログラムに1つアプローチを加える可能性がある

## 研究対象者の選定方針

脳卒中を発症し MMSE が 25 点以上ある人とする。片麻痺上肢の程度が手指 stage I、

肢 stage I ~ v の人とする。条件は、作業療法の介入があり、認知機能は日常生活の会話ができ、高次機能障害は日常生活に問題ないこととする。また、脳卒中を発症して1週間以内にリハビリテーションの依頼があった人とする

承認日 (2019 年 9 月 13 日) から西暦 2020 年 1 月 31 日